



フォルクスワーゲン T1をつくる

Volkswagen T1

The famous
Volkswagen Van in
the Samba version

Pack
1





フォルクスワーゲン T1をつくる Volkswagen T1

The famous
Volkswagen Van in
the Samba version

STAGE 1 ボディフロント……………1

STAGE 2 フロントホイール（左）……………5



Official Licensed
Product

© Volkswagen, 2024

Trademarks, design patents and copyrights are used
with the approval of the owner, Volkswagen AG



ボディフロント

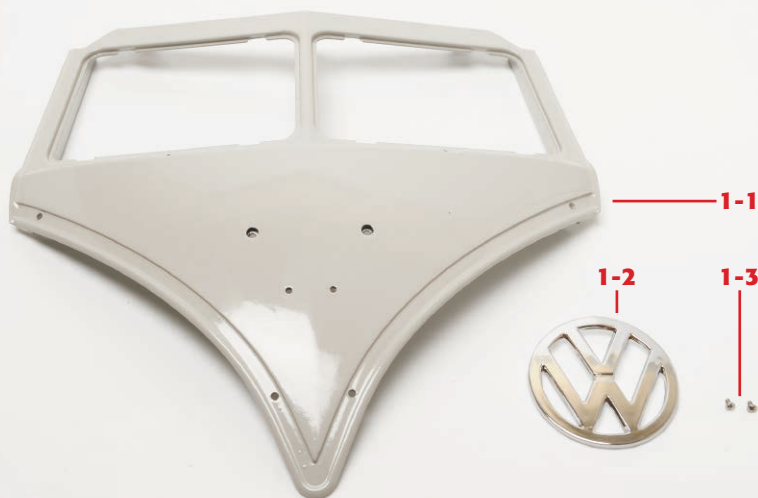
本ステージではバスの組み立てを開始し、フォルクスワーゲンのロゴをボディフロントに配置する。また、徐々にそのディテールが紐解かれ、この伝説のバスについても知ることができる。

本ステージのパーツ

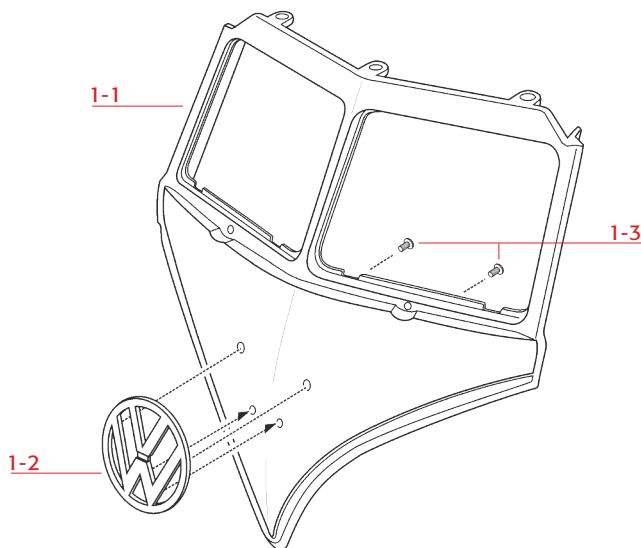
- 1-1 ボディフロント
- 1-2 フォルクスワーゲンロゴ
- 1-3 BP01ネジ(1.2 x 3.5 mm)

予備のネジ

ネジが付属している場合は、必ず予備のネジが含まれている。必要ときにすぐに取り出せるよう、安全な場所に保管しておこう。



組立図



※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

パーツと車両の特徴

バスを構成するパーツの大部分は、ネジを使用するか、パーツをはめ込んで組み立てる。そのため、ほとんどの組み立て作業で基本的なドライバーセットが必要となるが、その一部はパーツとともに提供される。カッターやペンチ、ピンセットも、エンジンワイヤーなど特定のパーツを組み立てる時にあると便利だ。

ボディ

ボディ外装はすべて金属製で、質感と強度、リアルさを追求している。



ホイール

ホイールは金属製のリムを採用し、タイヤもトレッドデザインだけでなく、サイドウォールの刻印まで再現されている。



ルーフ

このモデルの特徴の一つであるサンルーフは、実車のキャンバスを彷彿とさせる生地を採用し、実車と同様に折りたたむことができる。

インテリア

内装、シート表皮、ドアトリム、インテリア、フロアなどは、実車の質感とカラーを再現している。

ウィンドウ

前方のウィンドウは実車同様にスライド開閉できる仕様になっている。



ドア

開閉するドアは金属製のヒンジで取り付けられ、車体にフィットする。

シャーシ

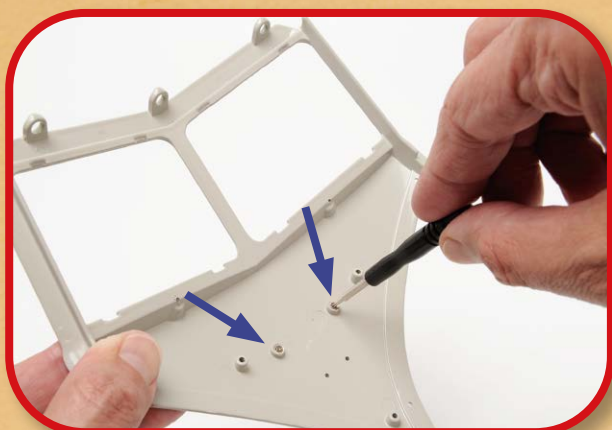
金属製シャーシには、実車同様、金属製のエンジンやフロントとリアのサスペンションの主要部品が収められている。

ボディフロント



STEP 1-A

フォルクスワーゲンロゴ(1-2)の背面のピンをボディフロント(1-1)の穴に差し込み、ぴったりとはまるように押し込む。



STEP 1-B

次に、BP01 ネジ(1-3)2本をボディフロントの内側にある穴に差し込み、ロゴを固定する。



本ステージの完成

ロゴを取り付けたボディフロント。

パーツの取り付け位置



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲンオートミュージアムに展示されているVWサンバスを参考にしました。



フロントホイール（左）

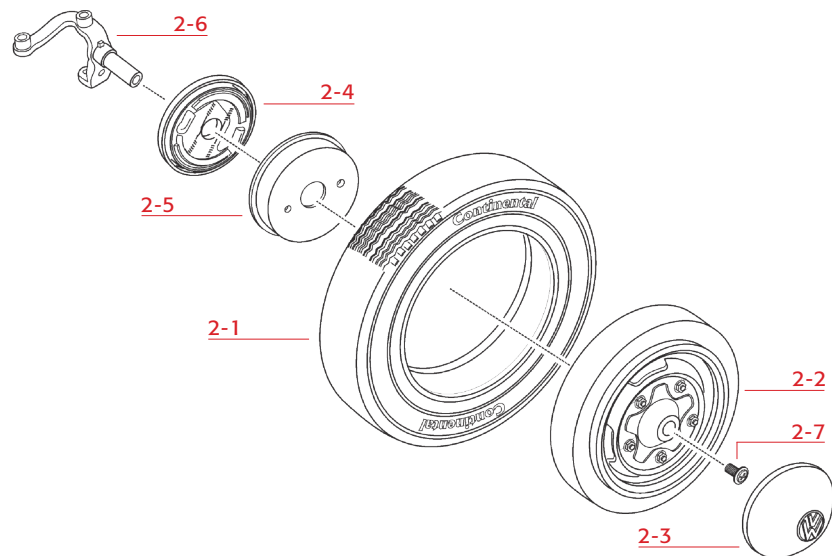
本ステージではフロントホイール（左）とそれに対応するハブ、ブレーキドラムを組み立てる。

本ステージのパーツ

- 2-1 タイヤ
- 2-2 リム
- 2-3 ハブキャップ
- 2-4 ブレーキ
- 2-5 ブレーキドラム
- 2-6 ハブ
- 2-7 BD01ネジ
(2.3×3 Ø6.5mm)
- 2-8 ドライバー



組立図



※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

フロントホイール (左)

組み立てアドバイス



ホイールの組み立てを始める前に、タイヤをリムにはめやすくするために、タイヤをドライヤーで少し温めるか、お湯に数分間浸しておく。タイヤは簡単に柔らかくなり、冷めるとすぐにまた硬くなるという優れた素材でできているので、それほど加熱する必要はない。



STEP 2-A

「組み立てアドバイス」を参照し、リム (2-2) をタイヤ (2-1) にはめ込む。タイヤに表裏の区別はない。



STEP 2-B

まず、リムの片側を差し込み、タイヤに完全に収まるように少しずつ動かす。

STEP 2-C

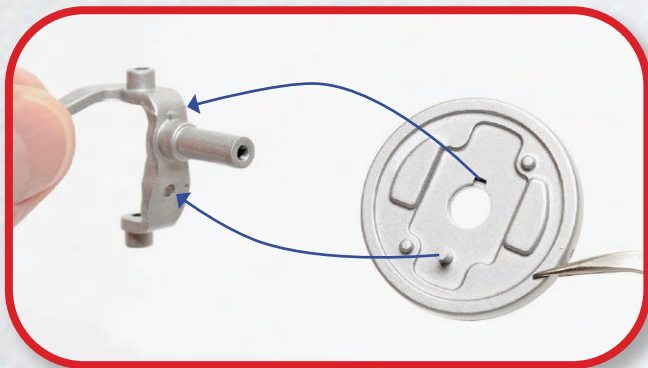
ホイールの両側をチェックし、タイヤの端がリムにしっかりフィットしていることを確認する。





STEP 2-D

次に、写真のようにブレーキドラム (2-5) をリムの内側のピンに合わせ、ぴったりとはめ込む。この時、2本のピンはドラムの穴の直径に合わせ、サイズが異なるので注意する。



STEP 2-E

次に、ハブ (2-6) の丸い穴と四角いピンを、ブレーキ (2-4) の外側の丸いピンと四角い溝に合わせ、しっかりと押し込む。



STEP 2-F

次に、ドラムを取り付けたリム中央の穴に、ハブのシャフトを差し込む。



STEP 2-G

ホイールの反対側からBD01 ネジ (2-7) でハブをリムに固定する。



STEP 2-H

片手でハブを持ち、ホイールが自由に回転することを確認する。

フロントホイール (左)

STEP 2-I

次に、ハブキャップ(2-3)をリムの外側に合わせる。ハブキャップは内側の磁石で固定される。



STEP 2-J

磁石がネジ頭に接し、リムにぴったり収まるよう、ハブキャップを軽く押す。



本ステージの完成
組み立てたフロントホイール(左)。

パーツの取り付け位置

